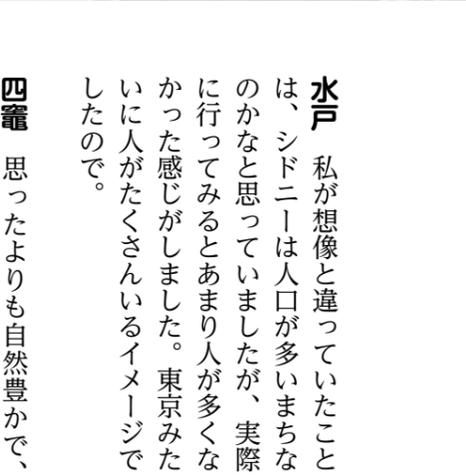




佐藤 「ノープロブレム」は「大丈夫です」「OKです」と相手に伝えるときに使っていました。オーストラリアの方もよく使っていた単語でしたので、授業で習っていた良かったです。

四電 「写真撮ってもいいですか」など、許可を求める際に習っていた単語を使って会話をすることができました。ジェスチャーも交えたので、相手にはより分かりやすくて伝わっていたかなと思います。

市長 今回、オーストラリアでの学校体験やホームステイなどもそうですが、皆さんが「オーストラリアはこんなところなのかな」とイメージしていたものと、実際にオーストラリアに行ってみて、自分の想像と合っていましたか。それとも違っていましたか。



水戸 私が想像と違っていたことは、シドニーは人口が多いまちなのかなと思っていましたが、実際に行ってみるとあまり人が多くなかった感じがしました。東京みたいに人がたくさんいるイメージでしたので。

四電 思ったよりも自然豊かで、馬や羊などの動物を見る機会が多かったです。日本ではなかなか見ることができないような景色を楽しむことができました。

市長 日本とは違った景色やオーストラリアでしか体験できないことがそれぞれあったと思います。



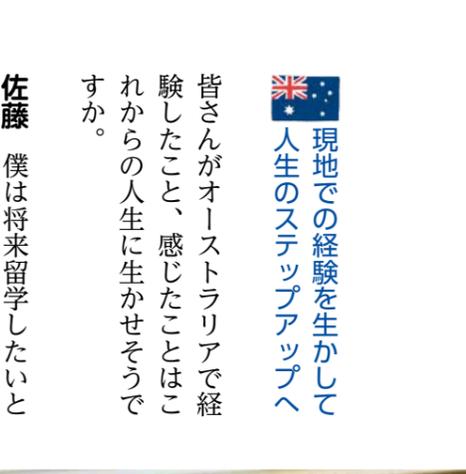
▲訪問団は、派遣にあたり4回の事前研修を行います。ALTなどの協力のもと、英会話を学ぶ語学演習やラファエル校で披露する発表などの準備を行いました

あれば「私たちも中学生になってオーストラリアに行けるよう、英語を頑張りたい」。保護者であれば「わが子をオーストラリアに行かせてみたい」と思っていただけの方が増えていくことを望んでいます。皆さんのこれからの大きな役割は、今回の経験を多くの方に伝えていくことだと思いますので、学校やクラスメートはもちろんですが、学校の枠を超えたところでも発信してほしいなと思います。

四電 小学生に伝える上で、言葉の難しさなどがあると思いますが、小学生の皆さんが中学生になったときに「オーストラリアに行っているいろいろなことを経験してみたい！」と思っていただけのようにしていきたいですね。

水戸 こういう経験は誰でもできることではないと思いますので、自分たちが感じたことをいろいろな場面で発信していきたいと思います。

佐藤 市民の方はもちろん、小学生にも



現地での経験を生かして人生のステップアップへ
皆さんがオーストラリアで経験したこと、感じたことはこれからの人生に生かせそうですか。

佐藤 僕は将来留学したいと思っています。シドニーで「海外で働くこと」についての話を聞くことができ、今までは留学についてあまりわかりませんでした。が、現地での話を聞いて興味が湧いてきました。海外でいろいろなことを学んで、日本、そして白石市の発展に貢献できるような人になりたいです。

四電 外国の方とコミュニケーションを取っていて、皆さんが共感していたり、笑っていたりしていた内容が理解できなかった場面がありました。英語をもっと勉強して、今後外国の方とコミュニケーションを取る機会があれば、フラシオンに話していけるようになりたいと思っています。

市長 皆さんのオーストラリアでの経験は、人生の大きな財産です。現地で感じたことや学んだことを



▲帰国後に報告会を行い、それぞれが学校体験やホームステイなどについて発表しました

わかりやすい言葉で自分の気持ちを伝えていけるよう頑張ります。そして、オーストラリアに興味を持ってくれる方が増えたらいいです。

市長 皆さんがそのように思っていることは大変うれしいですし、ぜひたくさんの方に皆さんの思いを聞いてほしいなと思います。

本年は白石市が市制施行70周年を迎える大きな節目の年です。白石市は、昭和29年4月1日に当時の白石町、越河村、斎川村、大平村、大鷹沢村、白川村、福岡村が合併し、



ぜひこれからの学校生活にも生かしてほしいと思います。

ここで、皆さんの将来の夢や今後の目標をお聞かせください。

水戸 私の将来の夢はキャビンアテンダントになることです。今回、飛行機で実際にキャビンアテンダントの美しいお辞儀や丁寧な接客を間近で見て、さらに憧れが強くなりました。

佐藤 僕は将来、会社を経営したいと思っています。有名で大きな会社に行きたいです。そこで、海外のお客さんから仕事をもらえることができたらしりたいです。

四電 私はまだ明確な将来の夢は決まっていませんが、人とコミュニケーションを取ることに好き

仙南地域の最初の市として誕生しました。現在、白石市は人口減少や少子高齢化などさまざまな課題がありますが、私は「持続可能な白石市」をつくっていききたいと思っています。皆さんはこれからの白石市、日本を背負ってくれる大切な宝物の一人一人ですので、皆さんが自分の夢や志に向かって頑張れるよう、私も皆さんに負けぬように頑張っていきます。

これからいろいろな苦労や悩みが出てくることもあるかと思いますが、そのときは、今回一緒に過ごした訪問団の仲間の顔を思い出してください。さまざまな困難が目の前に来たときでも「みんなも絶対頑張ってる。だから頑張ろう！」と乗り越えられると思います。皆さんのこれからの活躍を心からお祈りしています。お互いに頑張りましょう！

